

1 はじめに

今年度の9月11日に、中野小学校を会場として長野県図書館協会主催講座「調べる学習」が開催された。講師は、全国SLA学校図書館スーパーバイザーの藤田利江先生で昨年度に引き続き、中高地区における2年目の開催であった。昨年度は2年生の児童と調べる学習を行い、今年度は5年生の児童の調べる学習の授業であった。今年度の研修が終わったあとで、永田小学校では12月に行う読書旬間に合わせて全校で「調べる学習」にチャレンジすることにした。児童の作品から永田小学校の実践を振り返ってみたい。



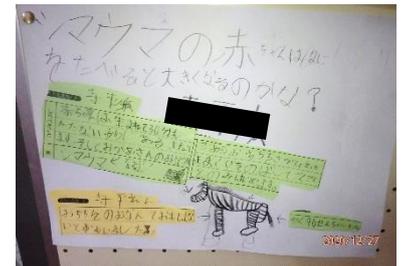
2 実践の様子

- (1) 旬間前に、中村が永田小学校に行き、授業についての打ち合わせを行う。
- (2) 職員会で読書旬間の説明を行い、「調べ学習」を実施することを提案し、了承される。その際、学年によって事前に準備しておくことを伝えておく。
- (3) 読書旬間中に、図書館教育主任の小林真教諭が全学年で「調べる学習」の授業を行う。その際、小林昌学校司書が支援に当たる。
- (4) 読書旬間終了後、全校児童の作品を児童昇降口に掲示する。

3 実践を振り返って（実践者の小林真教諭、小林昌司書の話、児童の作品より）

(1) 「嬉しかったよ」（1年生）

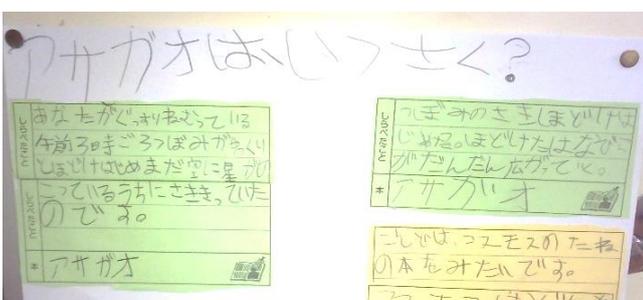
1年生は、国語「動物の赤ちゃん」と関連させて今回の授業を設定した。何の動物について調べるかを事前に決めておいてもらうように担任にお願いした。（「しらべる学習カード」に、「しりたいことを書く」ことをしていただいた。）1年生にとっては、難しい内容だったのではと思っていたが、児童は「たいへんだったけど、ちゃんとしらべられてよかったです。「しっかり調べることができて嬉しかったよ」と話していた。今回は、八つ切りの画用紙に自分の調べたことをまとめたが、このサイズは1年生にとっても自分の力で作り上げるには良いサイズであったといえる。右の1年生の作品は、「シマウマの赤ちゃんは、なにをたべると大きくなるのかな？」という問いが大きく書かれている。



① 画用紙1枚に仕上げる②知りたいこと（テーマ）を大きく書く③絵や地図

を入れる この3つをしっかりと出来た1年生であった。

(2) 「疑問（知りたいこと）に対する答えが的確」（2年生）



Sさんは、「アサガオはいつさく？」と大きく問いを書き、「そのままカード」に「あなたがぐっすりねむっている午前3時ごろつぼみがゆっくりほどけはじめまだ空に星のこっているうちにさききっていたのです。」と、疑問（知りたいこと）に対する答えが的確に書いてある。Sさんは、「わたしがねているときにさくのがふしぎです。」と感想カードに感想を記入した。そして、コスモスについて調べて

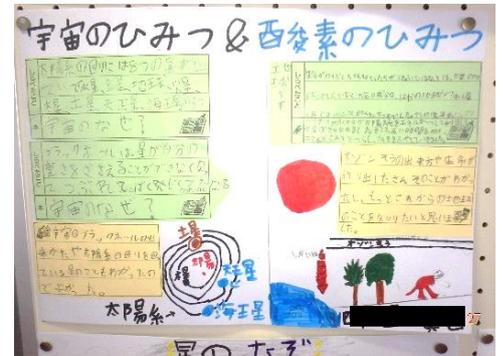
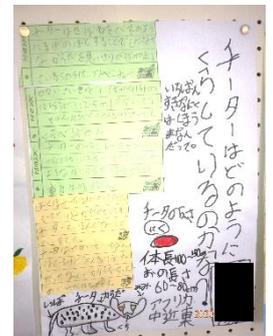
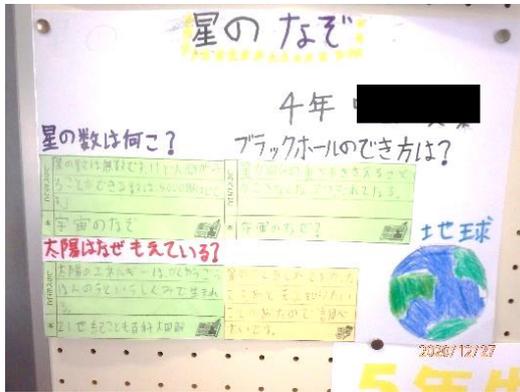
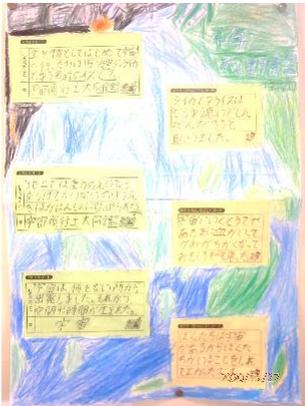
みたいという意欲をもつことができた。

(3) 「自分の調べたことを1枚の画用紙にどう表現するか」（3年生）

3年生が選んだテーマは、ライオン、ねこ、うさぎなどの動物からお正月、豊臣秀吉、核兵器と様々であった。

自分が調べたいことが書いてある本と出会うところでは、小林昌司書によるアドバイスもらった。絵を描くスペースを考えながら「そのままカード」と「かんそうカード」を貼る児童が多くいた。自分が分かったことを自分なりに絵やコメントで豊かに表現することができていた。

(4)「宇宙の何について調べるかが、はっきりしている」(4年生)



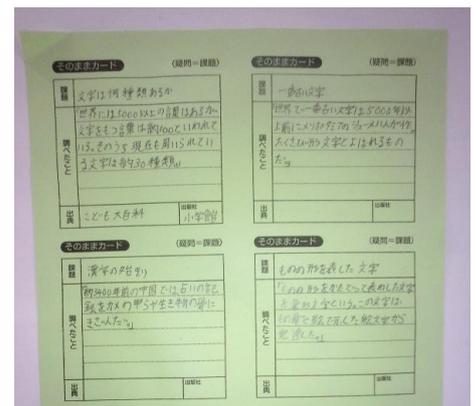
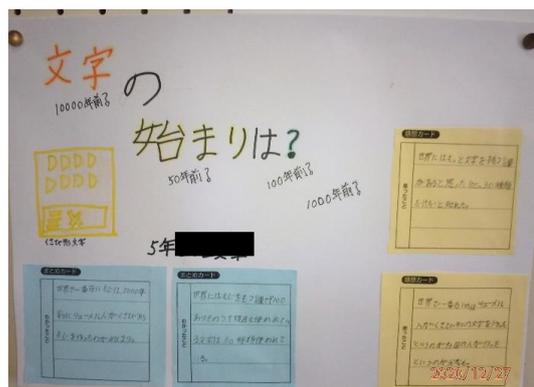
Mさんは、「宇宙にいった人や犬のことと宇宙に行くときどんな状態になるのか」Hさんは、「ブラックホールとオゾン層のこと」、Nさんは、「星の数と太陽がなぜ燃えているか」についてそれぞれ調べた。これは、「太陽チャート」を使ったからである。「太陽チャート」は、真ん中にテーマを書き、その周りの円に疑問を書く。周りには必ず疑問形で書くことで、より疑問が具体化し、調べる内容がはっきりする。

(5)「まとめカードを使って要約をする」(5年生)

5、6年生は、「アリ、お金、コアラ」など10のテーマを用意し、テーマを指定して学習を行った。今回は、「調べる学習」の練習ということで行った。また、5年生からは、「そのままカード」を見て、まとめる活動(要約)が加わる。Mさんは、4枚の「そのままカード」をもとに、2枚の「まとめカード」を書いた。「そのままカード」の中で大事だと思った部分をまとめており、自分なりに要約することができている。その一方で、「そのままカード」をそのまま「まとめカード」に書き写している児童が多かった。要約についての指導が必要である。

(6)「インタビュータイムでの交流の良さ」(6年生)

高学年の授業では、途中で「インタビュータイム」を行うことになっている。2、3人のグループでその時までの学習を紹介し合うのである。「①調べていること、②わかったこと、もっと調べたいこと」の3つをインタビューする。永田小



では、5、6年合同でこの「インタビュータイム」を行った。異学年同士のインタビュータイムは、お互いに刺激をもらい、良い交流となった。要約については、6年生は2名の児童が自分の言葉でまとめて書くことができていた。また、1名の児童はまとめたことを簡条書きにして書いていた。5年の児童と6年の児童は同じ10の項目からテーマを選んで取り組んだが、塩を選んだ児童では、5年生が「食品にふくまれる塩のはたらき」というテーマであった。6年生は、「塩のおどろくべきパワー」と題してあり、5年生のテーマより更に一步踏み込んだ形の表現になっていた。どちらの児童もりんごに塩をつけた時の絵を描いていたが、6年生の方が塩をつけた時の効果についての説明もより詳しくあった。学年を追ってより成長していく様子が見えてきた。1年生から6年

生までの作品を一同に介して見るとその成長の過程がよくわかる。低学年の児童にとっては、高学年児童の作品を見ることであこがれや意欲を高めることにつながるであろう。

4 終わりに

今回の実践は、「全校で調べる学習を行おう」と決めた小林真教諭と小林昌学校司書の決断に尽きる。私も一緒に参加させていただき、永田小児童の皆さんの素晴らしい作品に出会うことが出来たことを本当に幸せに感じている。今回の授業は、藤田利江先生の著書「調べる力がぐんぐん身につく藤田式調べる学習指導法 小学校編」付録の CD-ROM を使用して実施している、中学校編の本も出版されている。ぜひ、一人でも多くの方にこの本と出会っていただき、調べる力をぐんぐん身につけてほしい。

5 調べる学習の進め方（藤田利江先生からいただいた資料より）

*調べる学習にチャレンジ！（短時間で作品を仕上げるのが、ポイント。）

M1 問いを考えよう！（問いを作る。一番大事な部分）*今の学校教育では、「与えられた課題」をやっていることが多い。自分で答えを見つけられることが大事。→小学校からやっていく。

・なぜ？ どうして？ しつもんしてみたい。本当か？ 何種類ある？

太陽チャートに記入（太陽チャート作成のヒント①いつ、いくつ、どこ、だれ、どれが、なぜ、など教科のことを思い出す。②「～か。」で書く。）

・太陽チャートには、○が6つあるが4つ書いたら、コピーをもらう。（「コピーは本の代わりです。」）

・この本からコピーをしたよ、と言って本を見せる。『こども大百科』（小学館）

（テーマは、名簿番号順に振り分ける。）

① お金 ② りんご ③ 紙 ④ 塩 ⑤ 太陽 ⑥ 時計 ⑦ コアラ ⑧ トマト ⑨ 花火 ⑩ 文字

M2 解決する方法を考えよう（人に聞く、実験する、見る、パソコンで）・今回は、図書館で。

M3 そのままカードを書こう（みどり色のカード）

・1枚でいいから、書こう。（1枚に3つの、そのままカードがある）

・書いてあった言葉には、「」をつける。引用といたします。

・どうしてもわからないこともある。→疑問を変える。

・出典を書く。（資料名と出版社）<今回はこども大百科 小学館>

・「1個だけでもいいから、コピーから探そう。もうない人は、他の本を探そう。

興味ある本を見つけていいよ。」

M4 まとめカードを書こう（青色のカード）

・そのままカードを見て、大切なことを短くまとめる。（評価ができる）

インタビュータイム（頭の中を整理する）

*作文を書かせる時にも、「隣同士で話してごらん」と言って書かせるとよい。

・2人組を作り、聞く人（インタビューする人）と答える人に分かれる。「必ず答えてね。」

①何について調べているか②どんなことが分かりましたか③もっと調べたいことは何ですか。

M5 テーマを決めよう（「テーマは文章にして、より具体的に表現しましょう。」）

感想を書こう（黄色のカード）（初めて知った、教えたい、もっと調べたい、わかったこと）

M6 カードをまとめよう（画用紙1枚にまとめる。テーマは、マジックで大きく書く。）

M7 まとめ方を工夫しよう（時間内に仕上げます。）

結論をテーマにした人もいます。・そのままカードは、画用紙の裏にはります。

7つのミッションのクリアを目指して、つづきを取り組みましょう！

7 参考文献（共に藤田利江著 子どもの未来社）

- ・『調べる力がぐんぐん身につく 藤田式調べる学習指導法 小学校編』
- ・『調べる力がぐんぐん身につく 藤田式調べる学習指導法 中学校編』